

プログラム

特別講演

日時：10月25日（木）14：10～15：10 A会場（1階 シンフォニーホール）
講演者：甲斐 諭（中村学園大学学長 兼 中村学園大学流通科学研究所長）
演題：食品の流通と安全性確保
司会：宮本 敬久（九州大学大学院農学研究院）

教育講演 I

日時：10月25日（木）15：15～16：05 A会場（1階 シンフォニーホール）
講演者：小久保 彌太郎（社団法人 日本食品衛生協会）
演題：微生物管理法として HACCP システムの考え方がなぜ必要か
司会：小田 隆弘（中村学園大学短期大学部）

教育講演 II

日時：10月26日（金）13：00～13：50 A会場（1階 シンフォニーホール）
講演者：矢口 貴志（千葉大学真菌医学研究センター）
演題：食品危害カビにおける分類、同定の最前線
司会：小西 良子（国立医薬品食品衛生研究所）

シンポジウム I 「食品微生物試験法の最新の動向と簡易迅速化」

日時：10月25日（木）16：10～18：00 A会場（1階 シンフォニーホール）
司会：樋脇 弘（福岡市動物園）
久高 潤（沖縄県衛生環境研究所）
S-I-1 衛生指標菌に何を求めるのか
浅尾 努（財団法人 日本食品分析センター）
S-I-2 食品での腸管出血性大腸菌の検査法の最新の動向について
工藤 由起子（国立医薬品食品衛生研究所）
S-I-3 カンピロバクター標準試験法の紹介とその妥当性評価
百瀬 愛佳（国立医薬品食品衛生研究所）

シンポジウム II 「生食文化に潜む危険について」

日程：10月26日（金）14：00～16：10 A会場（1階 シンフォニーホール）
司会：堀川 和美（福岡県保健環境研究所）
緒方 喜久代（大分県衛生環境研究センター）
S-II-1 魚介類の生食による寄生虫症
横山 博（東京大学大学院農学生命科学研究科）
S-II-2 食肉の生食とカンピロバクター食中毒
三澤 尚明（宮崎大学農学部）
S-II-3 生食用野菜の微生物学的安全性確保のための国内外の取り組み
川本 伸一（（独）農研機構 食品総合研究所）

追加報告

S-II-4 白菜きりづけによる腸管出血性大腸菌O157 食中毒の概要について
片岡 郁夫（札幌市保健福祉局保健所食の安全推進課）

一般演題

第1日目 10月25日(木)

A会場(1階 シンフォニーホール)

9:20~10:00 座長:川崎 晋((独)農研機構 食品総合研究所)

- 1A01 病原菌検出システム(3M Molecular Detection System)による *E. coli* 0157 およびサルモネラ属菌の検出
○本庄弘一¹⁾, 馬渡幸子¹⁾, 中野寛子¹⁾, 岡本一成¹⁾, 西井成樹¹⁾, 今井一人¹⁾, 北原章生²⁾, 守山隆敏²⁾
(株式会社ファルコライフサイエンス¹⁾, スリーエムヘルスケア株式会社²⁾)
- 1A02 等温遺伝子増幅法を用いた食肉類からのサルモネラ属菌および腸管出血性大腸菌 0157 迅速検出に関する検討
○黒野尚美¹⁾, 齋藤健太¹⁾, 中島和英¹⁾, 北原章生²⁾, 守山隆敏²⁾
(株式会社東京食肉安全検査センター¹⁾, スリーエムヘルスケア株式会社²⁾)
- 1A03 混合糞便直接PCR法による食中毒3菌種核酸検出のための基礎検討
○高岡直子¹⁾, 馬場洋一²⁾, 林田瑞穂²⁾, 西村直行¹⁾, 伊藤 武²⁾
(株)島津製作所¹⁾, (財)東京顕微鏡院²⁾)
- 1A04 食品従事者糞便からのPCR法による腸管系病原菌検査の検討
○馬場洋一¹⁾, 林田瑞穂¹⁾, 高岡直子²⁾, 西村直行²⁾, 伊藤 武¹⁾
(財)東京顕微鏡院 食と環境の科学センター¹⁾, (株)島津製作所²⁾)

10:00~10:40 座長:小澤一弘((株)中部衛生検査センター)

- 1A05 プール検体マルチプレックスPCR法による食中毒3菌種のスクリーニングにおける検体の保存期間と検出感度の検証
○荒川 琢¹⁾, 相川 徹²⁾, 畠山 勤²⁾, 中村小百合²⁾, 萩原直樹²⁾
(東洋紡 ライフサイエンス事業部¹⁾, らいふ エムビック環境分析センター²⁾)
- 1A06 果物・野菜における食中毒菌多重検出キット“[TA10] Pathogenic Bacterial Multiplex PCR Detection System”の評価と前培養条件の検討
○川崎 晋¹⁾, 鄒 碧珍²⁾, 難波豊彦²⁾, 有馬和英²⁾, 木内 勲³⁾, 上崎(堀越)菜穂子⁴⁾, 川本伸一¹⁾
(独)農研機構 食品総合研究所¹⁾, (財)東京顕微鏡院²⁾, 株式会社ドール³⁾, プリマハム株式会社⁴⁾)
- 1A07 4種食中毒菌の同時増菌培養とDNAマイクロアレイを組み合わせた検査法の開発
○山崎隆明, 宮野元裕, 古川聡史, 中島和輝, 大津貴義, 吉田充裕
(東洋製罐グループ総合研究所)
- 1A08 電流検出型DNAチップを用いた食中毒原因菌の簡易自動検査技術の開発
○高橋匡慶¹⁾, 稲田美雅¹⁾, 岡田 純¹⁾, 後藤浩朗¹⁾, 源間信弘¹⁾, 小嶋由香²⁾, 清水英明²⁾, 清水亜希子²⁾, 中島関子²⁾, 岩瀬耕一²⁾, 岡部信彦²⁾
(株)東芝¹⁾, 川崎市衛生研究所²⁾)

10:40～11:20 座長：三輪憲永（東海大学短期大学部）

- 1A09 網羅的迅速遺伝子検査システム Rapid Foodborne Bacteria Screening 24 の改良と検出限界の検討
○江藤良樹¹，川瀬 遵²，池田徹也³，山口敬治³，嶋 智子⁴，亀山光博⁵，綿引正則⁴，
堀川和美¹，福島 博⁶，後藤良一³，調 恒明⁵
（福岡県保健環境研究所¹，島根県保健環境科学研究所²，北海道立衛生研究所³，富山県衛生
研究所⁴，山口県環境保健センター⁵，島根県畜産技術センター⁶）
- 1A10 改良した網羅的迅速遺伝子検査システム Rapid Foodborne Bacteria Screening 24 による食中毒事例
等の検討
○川瀬 遵¹，江藤良樹²，池田徹也³，山口敬治³，綿引正則⁴，嶋 智子⁴，亀山光博⁵，
飯田奈都子⁶，堀川和美²，福島 博⁷，後藤良一³，調 恒明⁵
（島根県保健環境科学研究所¹，福岡県保健環境研究所²，北海道立衛生研究所³，富山県衛生
研究所⁴，山口県環境保健センター⁵，静岡県環境衛生科学研究所⁶，島根県畜産技術センター⁷）
- 1A11 市販生食用鶏肉の食中毒菌検出状況（1）－アルコバクターおよびカンピロバクター－
○麻生嶋 七美¹，松田正法¹，重村久美子¹，本田己喜子¹，吉田英弘¹，樋脇 弘²
（福岡市保健環境研究所¹，福岡市動物園²）
- 1A12 市販生食用鶏肉の食中毒菌検出状況（2）－サルモネラおよびリステリア－
○重村久美子¹，松田正法¹，麻生嶋 七美¹，本田己喜子¹，吉田英弘¹，樋脇 弘²
（福岡市保健環境研究所¹，福岡市動物園²）

11:20～11:50 座長：磯部順子（富山県衛生研究所）

- 1A13 市販ひき肉中の *Arcobacter*, *Campylobacter*, *Salmonella* 汚染状況
○森田幸雄¹，古茂田恵美子¹，Potjanart BOONMA¹，石岡大成²，山本茂貴³，野田雅博⁴，
小澤邦壽²，木村博一⁴
（東京家政大学¹，群馬県衛生環境研究所²，国立医薬品食品衛生研究所³，国立感染症研究所⁴）
- 1A14 臨床検査機関における全国の菌検出データからの食中毒被害実態の推定
○窪田邦宏¹，天沼 宏¹，柳沢英二²，霜島正浩³，渋谷俊介⁴，春日文子¹
（国立医薬品食品衛生研究所¹，株式会社 ミロクメディカルラボラトリー²，株式会社 ビー・エ
ム・エル³，三菱科学メディエンス株式会社⁴）
- 1A15 過去 20 年間における市販鶏肉の食中毒菌検出状況
○小川敦子，松本裕子，小泉充正，山本芳郎，山田三紀子，太田 嘉
（横浜市衛生研究所）

B 会場（地下 2 階 イベントホール A）

9:20～10:00 座長：林 賢一（滋賀県衛生科学センター）

- 1B01 食中毒患者糞便からのナナホシクドア試験法
○原田哲也¹，河合高生¹，陳内理生¹，大西貴弘²，小西良子²，久米田裕子¹
（大阪府立公衆衛生研究所¹，国立医薬品食品衛生研究所²）
- 1B02 市場流通生鮮マグロ類のクドア属粘液胞子虫の保有状況調査
○都築秀明¹，柴田篤志¹，佐藤 宏²，小西良子³
（愛知県食品衛生検査所¹，山口大学²，国立医薬品食品衛生研究所³）
- 1B03 乳のみマウスを使用した *Kudoa septempunctata* の下痢原性に関する研究（3）
○河合高生¹，原田哲也¹，陳内理生¹，菊池 裕²，大西貴弘²，小西良子²，久米田裕子¹
（大阪府立公衆衛生研究所¹，国立医薬品食品衛生研究所²）

- 1B04 東京都内で発生した馬肉が原因食品として疑われた有症苦情事例からの住肉孢子虫の検出
○村田理恵, 鈴木 淳, 貞升健志, 甲斐明美
(東京都健康安全研究センター)

10:00~10:30 座長：泉谷秀昌（国立感染症研究所）

- 1B05 サルモネラ選択増菌培養における遅延二次増菌培養法の評価
○北澤秀基¹, 行縄陽介¹, 盛田隆行¹, 石崎直人²
(日清オイリオグループ株式会社¹, 麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科 食品衛生学研究室²)
- 1B06 食品細菌検査システム DOX による未殺菌液卵のサルモネラ検査の検討
○丹埜昭一¹, 板橋由美子², 井上耕博², 烏鷹幸弘¹, 山下 貢¹
(ダイキン工業株式会社 環境技術研究所¹, コージンバイオ株式会社²)
- 1B07 液卵工場におけるサルモネラ迅速検査法の検討
○佐藤美紀, 三浦恭子, 宮下 隆
(キュービー株式会社)

10:30~11:20 座長：盛田隆行（日清オイリオグループ株式会社）

- 1B08 運動性を利用した ISO のサルモネラ検出法の有用性
○島田敬司¹, 芦野可奈¹, 太田順司¹, 吉田信一郎¹, 田中廣行¹, 浅尾 努¹, 泉谷秀昌²
((財) 日本食品分析センター¹, 国立感染症研究所²)
- 1B09 SE不活化ワクチン接種による鶏卵へのSE汚染抑制効果並びにワクチン接種鶏群の卵黄抗体調査成績の検討
○花谷有樹子¹, 五十君静信², 中川雄史³, 大田博昭³, 笹井和美¹, 馬場栄一郎¹
(大阪府大¹, 国立衛研², CAF ラボ³)
- 1B10 サルモネラ (SE) ワクチン接種鶏や SE 自然感染鶏における血中および卵黄内の SE 菌体および SE 鞭毛特異抗体検出
○中川雄史¹, 大田博昭¹, 花谷有樹子², 馬場栄一郎²
(CAF ラボラトリーズ¹, 大阪府立大学²)
- 1B11 サルモネラ (SE) に対する卵黄内の菌体及び鞭毛特異抗体検出手法を用いた SE ワクチン接種及び SE 汚染状況等疫学的解析のための基礎的研究
○大田博昭¹, 鎌田有希², 馬場栄一郎³, 伊藤 武²
(CAF ラボラトリーズ¹, 東京顕微鏡院², 大阪府立大学³)
- 1B12 市販鶏卵のサルモネラ (SE) に対する卵黄の菌体及び鞭毛抗体の保有調査とその解析の試み
○鎌田有希¹, 伊藤 武¹, 馬場栄一郎², 大田博昭³
(財団法人東京顕微鏡院¹, 大阪府立大学², 株式会社シーエーエフラボラトリーズ³)

11:20~11:50 座長：貫名正文（神戸市環境保健研究所）

- 1B13 長期に渡って同一加工者の鶏肉から分離された ESBL 産生性サルモネラについて
○松本裕子¹, 小川敦子¹, 小泉充正¹, 山田三紀子¹, 山本芳郎¹, 太田 嘉¹, 泉谷秀昌²
(横浜市衛生研究所¹, 国立感染症研究所²)
- 1B14 油糧原料から分離したサルモネラの血清型と薬剤耐性
○行縄陽介¹, 北澤秀基¹, 盛田隆行¹, 石崎直人²
(日清オイリオグループ株式会社¹, 麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科 食品衛生学研究室²)

- 1B15 *Salmonella* prevalence in slaughtered animals and retailed meat in Pakse, Laos PDR
○Sumalee Boonmar¹⁾, Chaiwat Pulsrikarn²⁾, Phattharaphron Chaichana²⁾, Srirat Pornruangwong²⁾,
Chaunchom Sujate³⁾, Thongsay Sychanh⁴⁾, Thongdam Khounsy⁵⁾, Davanh Sisavath⁵⁾, 森田幸雄⁶⁾,
山本茂貴⁷⁾
(タイ厚生省-米国 CDC 共同研究所¹⁾, WHOサルモネラ赤痢センター: タイ²⁾, カセサート大学:
タイ³⁾, チャンパーサク大学: ラオス⁴⁾, チャンパーサク動物研究所: ラオス⁵⁾, 東京家政大
学⁶⁾, 国立医薬品食品衛生研究所⁷⁾)

C 会場 (地下2階 イベントホール B)

9:20~9:50 座長: 小林弘司 (福岡女子大学国際文理学部)

- 1C01 EMA-qPCR 法による食品からの生菌迅速検出
田畑早苗, ○吉崎美和, 畠田雅光
(タカラバイオ株式会社)
- 1C02 微生物形状認識型センサの開発
○中土井 祐¹⁾, 床波志保¹⁾, 高橋茉里²⁾, 池水麦平²⁾, 門真哲也²⁾, 細末健太³⁾, 椎木 弘³⁾,
長岡 勉³⁾
(大阪府立大学大学院 21世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター¹⁾, シヤープ株式会
社²⁾, 大阪府立大学大学院 工学研究科³⁾)
- 1C03 走査電子顕微鏡による非染色バクテリアサンプルの高コントラスト・低ダメージ観察法
○小椋俊彦
(産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門)

9:50~10:20 座長: 和田真太郎 ((財)東京顕微鏡院)

- 1C04 〈MALDI-TOF-MS を用いた微生物同定法〉の評価
○中谷昭広, 日夏智子
(東洋紡バイオロジックス株式会社 敦賀事業所 品質管理部)
- 1C05 市販鯨肉の細菌検査
○山口敬治¹⁾, 池田徹也¹⁾, 久保亜希子¹⁾, 清水俊一¹⁾, 大星真弓²⁾, 狩野利夫³⁾
(北海道立衛生研究所¹⁾, 北海道釧路保健所²⁾, 北海道帯広保健所³⁾)
- 1C06 食肉加工工場における油脂と微生物汚染に関する検討
○國分伸紘¹⁾, 國武広一郎¹⁾, 松浦潤一¹⁾, 宮崎祥典¹⁾, 盛田隆行¹⁾, 岡部和彦¹⁾, 中島和英²⁾,
石崎直人³⁾, 堂ヶ崎知格³⁾
(攝津製油株式会社¹⁾, 株式会社東京食肉安全検査センター²⁾, 麻布大学 生命・環境科学部³⁾)

10:20~11:00 座長: 中川 弘 ((株)BML フード・サイエンス)

- 1C07 生カキを原因とするノロウイルス食中毒事件の疫学調査と遺伝子解析
○溝口嘉範^{1, 2)}, 木田浩司¹⁾, 葛谷光隆¹⁾, 濱野雅子¹⁾, 藤井理津志¹⁾, 岸本壽男¹⁾, 槌田浩明²⁾,
安原広己²⁾, 野田 衛³⁾
(岡山県環境保健センター¹⁾, 岡山市保健所²⁾, 国立医薬品食品衛生研究所³⁾)
- 1C08 DNA シーケンサを用いた SSCP によるノロウイルス集団胃腸炎事例の解析
○森 功次¹⁾, 永野美由紀¹⁾, 秋場哲哉¹⁾, 林 志直¹⁾, 甲斐明美¹⁾, 野田 衛²⁾
(東京都健康安全研究センター¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾)

- 1C09 自家調製したパンソルビン相当品を用いた食品中の病原ウイルス検出法の検討
 ○斎藤博之¹⁾，東方美保²⁾，岡 智一郎³⁾，片山和彦³⁾，田中智之⁴⁾，野田 衛⁵⁾
 (秋田県健康環境セ¹⁾，福井県衛生環境研究セ²⁾，国立感染研³⁾，堺市衛生研⁴⁾，国立衛研⁵⁾)
- 1C10 生物発光酵素免疫測定法(BLEIA)によるノロウイルス検出法の評価
 ○塚越博之¹⁾，高田勇人¹⁾，小林美保¹⁾，石岡大成¹⁾，佐藤登紀子²⁾，鈴木 渉²⁾，柘植晴文²⁾，
 小澤邦壽¹⁾，木村博一³⁾
 (群馬県衛生環境研究所¹⁾，栄研化学株式会社²⁾，国立感染症研究所³⁾)

11:00~11:40 座長：野田 衛 (国立医薬品食品衛生研究所)

- 1C11 ノロウイルス検査における生物発光酵素免疫測定法(BLEIA)を用いた高感度BL-NV 試薬‘栄研’の有
 用性評価
 ○林 麻貴¹⁾，酒巻 望²⁾，鈴木 渉²⁾，大廣義幸²⁾，高安 進²⁾，柘植晴文²⁾，中川 弘¹⁾
 ((株)BMLフード・サイエンス¹⁾，栄研化学(株)²⁾)
- 1C12 長野県におけるE型肝炎ウイルスの浸潤状況について
 ○中沢春幸，嶋崎真実，小林広記，内山由里恵，上田ひろみ，笠原ひとみ，宮坂たつ子，藤田 暁
 (長野県環境保全研究所)
- 1C13 抗ノロウイルス効果を有する植物素材の探索と効果の検証
 ○神本真紀¹⁾，中井義昭²⁾，辻 徹²⁾，島本 敏¹⁾，島本 整¹⁾
 (広島大・院・生物圏科学・食品衛生¹⁾，アルタン(株)²⁾)
- 1C14 マウスノロウイルスに対する一価銅化合物の抗ウイルス効果
 ○先山絵理¹⁾，藤森良枝¹⁾，藤澤響子²⁾，中山幹男¹⁾，遠矢幸伸²⁾，中山鶴雄¹⁾
 (株式会社NBCメッシュテック¹⁾，日本大学 生物資源科学部²⁾)

D 会場 (4 階 国際会議場)

9:20~9:50 座長：枳穀 豊 (アヲハタ(株))

- 1D01 *Moorella thermoacetica* 芽胞に対する乳化剤の作用
 ○青山好男，小林哲也
 (公益財団法人 東洋食品研究所)
- 1D02 高温菌 *Thermoascus* 属の耐熱性
 ○大田聖佳，上田成一
 (長崎県立大学大学院)
- 1D03 *spoIVA* 遺伝子を用いた高温嫌気性芽胞菌の検出
 ○村上裕之，藤田康弘，出内桂二
 (キリンビバレッジ株式会社 コア技術研究所)

9:50~10:20 座長：青山好男 ((公財)東洋食品研究所)

- 1D04 ジャム・フルーツソース中における耐熱性好酸性菌の挙動
 ○中川弘之，枳穀 豊
 (アヲハタ株式会社 技術本部)
- 1D05 *Bacillus* 属細菌芽胞の耐熱性に及ぼす環境因子の影響
 ○小笠善彦¹⁾，中野宏幸¹⁾，枳穀 豊²⁾
 (広島大・生物圏科学・食品衛生¹⁾，アヲハタ(株) フルーツ加工研²⁾)

1D06 二酸化塩素の抗 *Bacillus cereus* 芽胞作用に関する検討
○若狭麻未¹⁾，福辻賢治²⁾，山田作夫^{1, 3)}
(川崎医福大・臨床栄養¹⁾，川崎医大・耳鼻咽喉科²⁾，川崎医大・微生物³⁾)

10:20~11:10 座長：久米田 裕子 (大阪府立公衆衛生研究所)

1D07 市内を流通する食品のカビ汚染実態について
○吉村由美，檀上博子，船橋圭輔，丸山 稔
(岡山市保健所)

1D08 *Chaetomium globosum* clade 及び *C. funicola* の検出法
○矢口貴志¹⁾，今西由巳¹⁾，松澤哲宏¹⁾，富山大輔²⁾，細谷幸一²⁾，中山素一²⁾
(千葉大真菌センター¹⁾，花王 (株) 安全研²⁾)

1D09 食品由来 *Aspergillus niger* のフモニシン類産生性スクリーニング手法についての検討
○渡辺麻衣子¹⁾，北山真弓²⁾，吉成知也¹⁾，橋本ルイコ³⁾，川上 浩²⁾，高橋治男¹⁾，小西良子¹⁾，
鎌田洋一¹⁾
(国立衛研¹⁾，共立女子大²⁾，千葉衛研³⁾)

1D10 PCR 法によるカビ検出技術に関する遺伝子領域の検討
山下哲史¹⁾，○有馬寿英¹⁾，枳穀 豊²⁾
(県立広島大学¹⁾，アヲハタ株式会社²⁾)

1D11 耐熱性 *Thermoascus* 属の迅速検出法開発
○細谷幸一¹⁾，中山素一¹⁾，人見 潤¹⁾，今西由巳²⁾，松澤哲宏²⁾，矢口貴志²⁾
(花王株式会社安全性評価研¹⁾，千葉大学真菌医学研究センター²⁾)

第2日目 10月26日(金)

A会場(1階 シンフォニーホール)

9:10~9:40 座長:和田貴臣((財)広島県環境保健協会)

- 2A01 市販生鮮カット野菜における *Cronobacter* spp. の汚染実態
○福田典子¹⁾, 堤 佳美¹⁾, 西田友紀子¹⁾, 飯沼泰之¹⁾, 古川壮一¹⁾, 荻原博和¹⁾, 五十君静信²⁾
(日本大学生物資源科学部¹⁾, 国立医薬品食品衛生研究所²⁾)
- 2A02 生食用食肉等食品における腸内細菌科菌群の検出
○門脇奈津子, 荒井公子, 星野 梢, 大塚佳代子, 野口貴美子
(埼玉県衛生研究所)
- 2A03 市販挽肉及びソーゼイ等の腸内細菌科菌群の汚染状況
○米道 優¹⁾, 澤村健一¹⁾, 内田和之²⁾, 中川 弘¹⁾
(株)BML フード・サイエンス¹⁾, シスメックス・バイオメリュー(株)²⁾)

9:40~10:30 座長:横井川 久己男(徳島大学大学院)

- 2A04 培養併用 F I S H システムによる食品中の腸内細菌科の計数(第2報)
○大坪雅史, 鈴木精良
(道立工術セ)
- 2A05 リアルタイム PCR 法による牛乳中の大腸菌群迅速検出に関する検討
○高橋尚美, 梅原佑佳, 大西 薫, 田中 孝
(株式会社 明治 研究本部)
- 2A06 大腸菌群試験法の問題点 ~完全試験に用いる乳糖ブイヨン発酵管について~
○須田貴之, 諸藤 圭, 齋藤明美, 田中廣行, 浅尾 努
(財団法人 日本食品分析センター)
- 2A07 各種大腸菌群検査用培地から検出される菌の同定とその比較
○中村寛海¹⁾, 小笠原 準¹⁾, 安福 潔²⁾, 有川健太郎^{1, 3)}, 大山み乃り^{1, 4)}, 阿部仁一郎¹⁾, 長谷 篤¹⁾
(大阪市立環境科学研究所¹⁾, 大阪市保健所²⁾, 神戸市環境保健研究所³⁾, 沖縄県北部食肉衛生検査所⁴⁾)
- 2A08 マイクロチップ電気泳動装置(MultiNA)を用いた大腸菌の迅速検出
○駒場 新¹⁾, 小島千明²⁾, 岸本 満^{1, 2)}
(名古屋学芸大学栄養科学研究科¹⁾, 名古屋学芸大学管理栄養学部²⁾)

10:30~11:20 座長:田中廣行((財)日本食品分析センター)

- 2A09 大腸菌・大腸菌群用酵素基質寒天培地から分離した細菌の同定
○小高秀正, 水落慎吾
(日水製薬株式会社)
- 2A10 愛知県における糞便からのESBL 遺伝子陽性大腸菌分離状況
○山田和弘¹⁾, 鈴木匡弘¹⁾, 井畑亜仁¹⁾, 青木美耶子¹⁾, 柘植亜衣子¹⁾, 松本昌門¹⁾, 平松礼司¹⁾, 皆川洋子¹⁾, 倉根隆一郎²⁾
(愛知県衛生研究所¹⁾, 中部大学応用生物学研究科²⁾)

- 2A11 *Escherichia albertii* が主因と推定された食中毒事例について
 ○徳岡英亮¹⁾，大岡唯祐²⁾，古川真斗¹⁾，浴永圭吾³⁾，徳永晴樹³⁾，東 竜生³⁾，林 哲也²⁾，
 原田誠也¹⁾
 (熊本県保健環境科学研究所¹⁾，宮崎大学医学部医学科²⁾，熊本県天草保健所³⁾)
- 2A12 大腸菌の O 抗原合成遺伝子領域の網羅的解析と菌株分類法への利用の検討
 ○井口 純¹⁾，伊豫田 淳²⁾，秋吉充子¹⁾，大西 真²⁾
 (宮崎大学・IR 推進機構¹⁾，国立感染症研究所・細菌第一部²⁾)
- 2A13 大腸菌の O 抗原合成遺伝子を標的とした PCR 法と LAMP 法の開発
 ○秋吉充子¹⁾，井口 純¹⁾，伊豫田 淳²⁾，大西 真²⁾
 (宮崎大学・IR 推進機構¹⁾，国立感染症研究所・細菌第一部²⁾)

B 会場 (地下 2 階 イベントホール A)

9:10~9:50 座長：工藤由起子 (国立医薬品食品衛生研究所)

- 2B01 腸管出血性大腸菌を対象とした検便検査の分離培地「E-MAC」の評価
 ○木津 学¹⁾，市川睦憲¹⁾，中川 弘²⁾
 (株式会社 アイサイエンス¹⁾，株式会社 BMLフード・サイエンス²⁾)
- 2B02 酵素基質含有腸管出血性大腸菌スクリーニング培地の開発
 ○寺村 哉，板橋由美子，矢島晴美，関口純一郎，井上耕博
 (コージンバイオ株式会社)
- 2B03 クオリバックス™ システムを用いた腸管出血性大腸菌の検出
 ○森 哲也¹⁾，畑ますみ²⁾，為房園実²⁾，藤原香代子²⁾，渡辺晃正³⁾，岩出義人⁴⁾，和田真太郎¹⁾，
 難波豊彦¹⁾，遠山一郎¹⁾，大熊周平⁵⁾，上橋健三⁶⁾，小沼博隆⁷⁾，伊藤 武¹⁾
 (財団法人東京顕微鏡院¹⁾，岡山県備前保健所²⁾，財団法人岡山県健康づくり財団³⁾，三重県保健
 環境研究所⁴⁾，株式会社 GSI クレオス⁵⁾，デュポン株式会社⁶⁾，東海大学⁷⁾)
- 2B04 腸管出血性大腸菌 O26 食中毒における IS-printing 法の利用
 ○嶋 智子，木全恵子，磯部順子，金谷潤一，綿引正則，佐多徹太郎
 (富山県衛生研究所)

9:50~10:30 座長：西川禎一 (大阪市立大学)

- 2B05 千葉県における腸管出血性大腸菌 O157 の clade 分布状況とその変化
 ○平井晋一郎，横山栄二
 (千葉県衛生研究所)
- 2B06 腸管出血性大腸菌 O26、O111 および O157 一斉試験法のための増菌培養法の基礎検討
 ○曾我部祐介¹⁾，塚原めぐみ²⁾，丸山弓実³⁾，飯塚太由¹⁾，荒木恵美子²⁾，小西良子⁴⁾，
 工藤由起子⁴⁾
 (財団法人食品環境検査協会¹⁾，東海大学海洋学部²⁾，社団法人日本食品衛生協会³⁾，国立医薬品
 食品衛生研究所⁴⁾)
- 2B07 複数機関で実施した腸管出血性大腸菌 O26、O111 および O157 一斉試験法のための増菌培養法の検討
 ○小西典子¹⁾，齊木 大¹⁾，大塚佳代子²⁾，森 哲也³⁾，中川 弘⁴⁾，飯塚信二⁵⁾，多賀賢一郎⁶⁾，
 甲斐明美¹⁾，小西良子⁷⁾，工藤由起子⁷⁾
 (東京都健安研センター¹⁾，埼玉県衛生研究所²⁾，東京顕微鏡院³⁾，BML フードサイエンス⁴⁾，
 横浜検疫所⁵⁾，神戸検疫所⁶⁾，国立医薬品食品衛生研究所⁷⁾)

- 2B08 腸管出血性大腸菌 026、0111 および 0157 の一斉試験法のコラボレイティブスタディによる評価 (1)
○山本祐嗣¹⁾, 林 昭宏²⁾, 飯塚信二²⁾, 多賀賢一郎¹⁾, 大塚佳代子³⁾, 小西典子⁴⁾, 森 哲也⁵⁾,
中川 弘⁶⁾, 齊藤志保子⁷⁾, 磯部順子⁸⁾, 廣井みどり⁹⁾, 神吉政史¹⁰⁾, 右田雄二¹¹⁾, 小西良子¹²⁾,
工藤由起子¹²⁾
(神戸検疫所¹⁾, 横浜検疫所²⁾, 埼玉県衛生研究所³⁾, 東京都健康安全研究センター⁴⁾, (財) 東京
顕微鏡院⁵⁾, (株) BML フードサイエンス⁶⁾, 秋田県健康環境センター⁷⁾, 富山県衛生研究所⁸⁾,
静岡県環境衛生科学研究所⁹⁾, 大阪府立公衆衛生研究所¹⁰⁾, 長崎県環境保健研究センター¹¹⁾, 国
立医薬品食品衛生研究所¹²⁾)

10:30~11:00 座長：山崎伸二 (大阪府立大学大学院)

- 2B09 腸管出血性大腸菌 026、0111 および 0157 の一斉試験法のコラボレイティブスタディによる評価 (2)
○大塚佳代子¹⁾, 門脇奈津子¹⁾, 森 哲也²⁾, 高見明代³⁾, 中川 弘³⁾, 林 昭宏⁴⁾, 上田泰史⁵⁾,
小西典子⁶⁾, 甲斐明美⁶⁾, 右田雄二⁷⁾, 神吉政史⁸⁾, 廣井みどり⁹⁾, 磯部順子¹⁰⁾, 齊藤志保子¹¹⁾,
小西良子¹²⁾, 工藤由起子¹²⁾
(埼玉県衛生研究所¹⁾, (財) 東京顕微鏡院²⁾, (株) BML フードサイエンス³⁾, 横浜検疫所⁴⁾,
神戸検疫所⁵⁾, 東京都健康安全研究センター⁶⁾, 長崎県環境保健研究センター⁷⁾, 大阪府立公衆衛
生研究所⁸⁾, 静岡県環境衛生科学研究所⁹⁾, 富山県衛生研究所¹⁰⁾, 秋田県健康環境センター¹¹⁾,
国立医薬品食品衛生研究所¹²⁾)

- 2B10 網羅的迅速遺伝子検査システム RFBS24 を応用した multiplex real-time PCR による *stx*₁, *stx*₂, *eae*
遺伝子検査法
○池田徹也¹⁾, 山口敬治¹⁾, 嶋 智子²⁾, 綿引正則²⁾, 川瀬 遵³⁾, 亀山光博⁴⁾, 江藤良樹⁵⁾,
堀川和美⁵⁾, 福島 博⁶⁾, 後藤良一¹⁾, 調 恒明⁴⁾
(北海道衛研¹⁾, 富山県衛研²⁾, 島根県保環研³⁾, 山口県環保セ⁴⁾, 福岡県保環研⁵⁾, 島根県畜技
セ⁶⁾)

- 2B11 志賀毒素産生性大腸菌が保有する病原因子と血清群との関連性の解析
○長尾清香¹⁾, 李 謙一²⁾, 小西良子¹⁾, 工藤由起子¹⁾
(国立医薬品食品衛生研究所¹⁾, 東京大学大学院²⁾)

11:00~11:30 座長：甲斐明美 (東京都健康安全研究センター)

- 2B12 鶏肉からのカンピロバクター検出における二段階増菌法の培養条件の検討
○古田宗宜¹⁾, 小田隆弘¹⁾, 金子孝昌²⁾, 木原温子²⁾
(中村学園大学短期大学部¹⁾, 関東化学株式会社²⁾)
- 2B13 リアルタイム PCR 法や LAMP 法を用いた食中毒患者便からのカンピロバクター迅速検査法の検討
○小野一晃, 星野 梢, 門脇奈津子, 大塚佳代子, 野口貴美子
(埼玉県衛生研究所)
- 2B14 食鳥処理場におけるカンピロバクター交叉汚染の定量解析
○佐々木貴正¹⁾, 春名美香¹⁾, 森 哲也²⁾, 村上真理子¹⁾, 伊藤和夫¹⁾, 山田友紀子¹⁾
(農水省消費・安全局¹⁾, 東京顕微鏡院²⁾)

C会場（地下2階 イベントホールB）

9:10~9:50 座長：三宅眞実（大阪府立大学）

2C01 TaqMan Probe を用いた Real time PCR 法による *Bacillus cereus* 嘔吐毒産生菌の検出に関する研究
山口真波¹，岩瀬美紀¹，品川邦汎²，桑原祥浩¹，○上田成子¹
（女子栄養大学・衛生学¹，岩手大学²）

2C02 セレウリドおよび類縁体の合成と、それらを標準品に用いる *Bacillus cereus* 培養液の LC/MS 分析
村上広和¹，○奈賀俊人³，服部能英²，竹中宏誌²，大田洋一郎²，鎌田洋一⁴，小西良子⁴，
谷森紳治¹，切畑光統²
（大府大院生命環境科学研究科¹，大府大 21 世紀科学研究機構²，東洋食品工業短大包装食品
工学³，国立医薬品食品衛生研究所⁴）

2C03 パックライスからのセレウリド抽出法と測定方法の検討
○浅野桃子¹，二ツ亀雅文¹，池田高紀²，古澤直人¹，鎌田洋一³，西川禎一¹
（大阪市立大学大学院 生活科学研究科¹，帝塚山学院大学²，国立医薬品食品衛生研究所³）

2C04 *Bacillus cereus* 増殖における誘導期間の確率論的予測モデルの開発
○野中純子¹，東 雅文¹，小関成樹²
（日清製粉G 本社 基礎研究所¹，（独）農研機構 食品総合研究所²）

9:50~10:30 座長：河合高生（大阪府立公衆衛生研究所）

2C05 食材からのエンテロトキシン遺伝子保有ウエルシュ菌の直接検出法
○宇治家武史¹，林 司¹，山本茂貴²，鎌田洋一²
（株式会社カイノス¹，国立医薬品食品衛生研究所²）

2C06 NASBA-核酸クロマト法を用いたセレウス菌の新規検出法
○小松原英介¹，宇治家武史¹，林 司¹，西川禎一²，鎌田洋一³
（株式会社カイノス¹，大阪市立大学大学院生活科学研究科²，国立医薬品食品衛生研究所³）

2C07 質量分析計を用いた黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの検出
○居原 秀¹，笠松真吾¹，國枝恒兵¹，池田善和²，板橋達彦²，花形吾朗²
（大阪府立大学¹，雪印メグミルク（株）²）

2C08 黄色ブドウ球菌のコアグラゼ遺伝子サブタイプとエンテロトキシン遺伝子保有状況の関係
武本篤寛¹，○板橋達彦¹，伊藤輝代²，平松啓一²，小崎俊司³，花形吾朗¹
（雪印メグミルク（株）¹，順天堂大学²，大阪府立大学³）

10:30~11:00 座長：石村勝之（広島市衛生研究所）

2C09 ウエルシュ菌食中毒検査における増菌培養条件の検討
○門間千枝，石塚理恵，齊木 大，小西典子，横山敬子，新井輝義，鈴木康規，尾畑浩魅，仲真晶子，
甲斐明美
（東京都健安研センター）

2C10 宿主細胞との共培養系におけるウエルシュ菌エンテロトキシンの発現誘導
星 英之¹，安木真世¹，近藤香織¹，門間千枝²，山本茂貴³，鎌田洋一³，○三宅眞実¹
（大阪府立大学獣医公衆衛生学¹，東京都健康安全研究センター²，国立医薬品食品衛生研究所³）

- 2C11 MLVA 法による酪酸菌 *Clostridium tyrobutyricum* の簡易タイピング法の開発
○西原正晴¹⁾，須藤朋子¹⁾，京井大輔²⁾，河原俊雄²⁾，高橋 肇³⁾，久田 孝³⁾，木村 凡³⁾，
柳平修一¹⁾
(雪印メグミルク株式会社 品質保証部¹⁾，東京海洋大学大学院 食機能保全科学専攻 食品微生物学研究室²⁾，東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 食品生産科学部門 食品微生物学研究室³⁾)

11:00~11:40 座長：門間千枝（東京都健康安全研究センター）

- 2C12 MLVA 法による B 型乳児ボツリヌス症分離株の遺伝子型別
○梅田 薫¹⁾，和田崇之¹⁾，幸田知子²⁾，小崎俊司²⁾
(大阪市立環境科学研究所¹⁾，大阪府立大学生命環境科学研究科²⁾)
- 2C13 熊本県で発生したボツリヌス症事例について
○古川真斗，徳岡英亮，原田誠也
(熊本県保健環境科学研究所)
- 2C14 腸炎ビブリオの免疫学的迅速同定法の開発
○坂田淳子¹⁾，川津健太郎¹⁾，岩崎 忠²⁾，田中勝啓²⁾，竹中重雄²⁾，久米田裕子¹⁾，児玉 洋²⁾
(大阪府立公衆衛生研究所¹⁾，大阪府立大学²⁾)
- 2C15 インドネシアにおける魚介類媒介食中毒とその発生要因の地域間での比較
○中口義次¹⁾，Abdul Aziz Djamel²⁾，Harry Fajiri Zisoni³⁾，清水理香⁴⁾，勢戸和子⁵⁾，
西瀬光昭¹⁾
(京都大学東南アジア研究所¹⁾，アンダラス大学医学部²⁾，Batu Aji Health Center³⁾，京都大学大学院医学研究科環境生態学⁴⁾，大阪府立公衆衛生研究所⁵⁾)

D 会場（4 階 国際会議場）

9:10~9:40 座長：石黒 厚（元（株）ドンク）

- 2D01 主原料の違いと酵素剤の添加が魚醤油の品質に与える影響
○船津保浩¹⁾，舊谷亜由美²⁾，原田恭行³⁾，小善圭一⁴⁾，高野隆司⁵⁾，里見正隆²⁾
(酪農大食と健康¹⁾，中央水研²⁾，富山食研³⁾，富山県水産漁港課⁴⁾，（株）梅かま⁵⁾)
- 2D02 流通小売で発生した食品の微生物苦情と HACCP 管理上の課題
○日野亮一¹⁾，宇野琢朗²⁾
(コープきんき事業連合¹⁾，東海コープ事業連合²⁾)
- 2D03 食中毒等予防の観点からみた工場監査手法の課題
○豊福 肇¹⁾，新 武司^{2, 3)}，田中千可子^{1, 3)}，川瀬健太郎^{3, 4)}，清水俊一⁵⁾，高橋正弘⁶⁾，
日佐和夫^{1, 7)}
(国立保健医療科学院¹⁾，株) BML フード・サイエンス²⁾，東京海洋大学大学院³⁾，（株）マーケティングフォースジャパン⁴⁾，北海道衛研感染症センター⁵⁾，神奈川県立健康福祉大学⁶⁾，大阪府大食品安全科学研究センター⁷⁾)

9:40~10:10 座長：稲津康弘（(独)農研機構 食品総合研究所）

- 2D04 界面活性剤の殺菌および洗浄効果に対する食品成分の影響
○李 睿¹⁾，大江理奈¹⁾，久田 孝²⁾，矢野俊博¹⁾
(石川県立大学¹⁾，東京海洋大学²⁾)

2D05 植物抽出液と有機酸を併用した腸管出血性大腸菌 0157 の制御
○細川実咲¹⁾，前田 倫²⁾，中野宏幸²⁾
(広島大学生物生産学部¹⁾，広島大学生物圏科学研究科食品衛生学²⁾)

2D06 要冷蔵食品の温度管理へのメイラード反応の利用
○山本貴志，須藤あゆみ，一色賢司
(北大・院・水産)

10:10~10:50 座長：指原信廣 (キューピー(株))

2D07 乳幼児調製粉乳中における各種病原性細菌の挙動解析
○小関成樹，中村宣貴，椎名武夫
((独) 農研機構 食総研)

2D08 市販味噌に混入した大腸菌 0157 の死滅特性
○細谷幸恵，齋藤美枝，根井大介，川崎 晋，稲津康弘
((独) 農研機構 食品総合研究所)

2D09 損傷菌の食品中における増殖予測
○松原裕樹，土方智典，高橋尚美，大島 悟，田中 孝
(株式会社 明治 研究本部)

2D10 べん毛による培養細胞の IL-8 産生誘導に対する健康者由来分散接着性大腸菌の抑制効果
○松崎壯宏¹⁾，谷本佳彦²⁾，有川健太郎²⁾，西川禎一²⁾
(大阪市立大学生活科学部¹⁾，大阪市立大学大学院生活科学研究科²⁾)

ランチョンセミナー

1 メルク株式会社

日 時：10月25日（木）12時00分～13時00分 B会場（地下2階 イベントホールA）

演 題：食品の迅速微生物検査（公定法の現状と今後の動向を踏まえて）

講演者：鈴木 富美（メルク株式会社 メルクミリポア事業本部 ラボラトリーソリューションズ事業部）

2 デンカ生研株式会社

日 時：10月25日（木）12時00分～13時00分 C会場（地下2階 イベントホールB）

演 題：ノロウイルス食中毒 ー対応と防止ー

講演者：田中 智之 先生（堺市衛生研究所）

3 株式会社 GSI クレオス デュボン株式会社

日 時：10月25日（木）12時00分～13時00分 D会場（4階 国際会議場）

演 題：国内外における腸管出血性大腸菌食中毒の動向と課題及び検査法

講演者：伊藤 武 先生（財団法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 理事）

4 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

日 時：10月26日（金）11時50分～12時50分 B会場（地下2階 イベントホールA）

演題名：食品・環境を汚染する耐性菌とヒトの感染症病原菌との関連性

演者名：石井 良和 先生（東邦大学医学部医学科 微生物・感染症学講座 講師）

5 タカラバイオ株式会社

日 時：10月26日（金）11時50分～12時50分 C会場（地下2階 イベントホールB）

演 題：リアルタイムPCR法を用いた衛生指標菌の定量法について

講演者：高橋 肇 先生（東京海洋大学 大学院 海洋科学技術研究科 研究院 海洋科学系 食品生産科学部門
食品微生物学研究室）

6 シスメックス・ビオメリュー株式会社

日 時：10月26日（金）11時50分～12時50分 D会場（4階 国際会議場）

演 題：臨床微生物と食品微生物の接点

講演者：山根 誠久 先生（琉球大学大学院医学研究科 教授）

座 長：浅尾 努 先生（財団法人 日本食品分析センター 学術顧問）

*ランチョンセミナーの参加受付は、両日とも8時45分から、総合受付で、整理券の発行により行います。